

安心して暮らせるまちづくりのために 栄・防災ボラネット通信

発行：横浜栄・防災ボランティアネットワーク

25号
2018-3

2017 年度第 2 回 栄・災害対策研修会

クロストーク

災害時の連携にどう備えるか
～地域とのつながりを目指して～

日時：平成 29 年 12 月 9 日（土）13 時 30 分～16 時 場所：栄区役所 新館 4 階 8・9 号 会議室
主催：横浜栄・防災ボランティアネットワーク / 栄区社会福祉協議会 後援：栄区役所
参加者合計：63 名 防災拠点・自治会関係(40 名)、区・社協(6 名)、ボラネット(17 名)

【事前解説】として、

「栄区の防災体制について」を栄区役所総務課 伊藤徳経 危機管理担当係長から、次いで「災害ボランティアについて」を栄区社会福祉協議会 和泉秀朗 事務局次長から説明頂いた。

【検 討】はこの解説を受けて、

拠点運営委員・行政・栄区社協・福祉関係者・栄防災ボラネットの参加者全員で意見を交わす「クロストーク」を 春に続く第 2 回目として実施した。

今回のクロストークの手法として、防災カードゲーム『クロスロード』を利用し、避難所運営に関わる問題を用意、5～7 人構成の A～J 10 グループに分かれて広範な意見を活発に交わすことができた。

今回のクロスロードは、自身が ●被災者 ●避難所の物資担当 ●避難所の運営委員、それぞれの立場に立って、避難所内で発生する問題や、不足する物資の配布問題、避難所内での障がい者への対応など、前例が少なく、難しい判断を迫られる場面を想定して意見交換した。大事なものは、考え方・価値観の違いを尊重しながら合意形成のあり方を考えるとともに、多数派だけでなく少数意見の貴重さに気付くことで、景品の「飴」ゲットに歓声が沸く場面もあり、クロスロードの特性を活かした良い時間を持つことができた。



【講 評】を 区総務課の伊藤 危機管理担当係長から頂き、高い確率で予想される災害に備えて救援要請等の情報伝達ルートの設定など、状況に応じた体制改訂の可能性と、オール栄区の各組織の連携を進めることへの期待が述べられた。



【討議内容】発表された各グループの見解や実施事例には各拠点で採用できる多くのヒントが含まれており、避難所での高齢者、乳幼児、小児など災害弱者への対応に、それぞれ専用室を設ける（左写真）など、拠点同士、地域同士の連携に大いに参考になる情報が含まれていたことは大きな成果であった。

また 今回の研修会は、今後の研修会のあり方への貴重な経験が得られたと感じられる。

記：宇都宮

第 12 回 災害ボランティアセンター開設・運営訓練報告

日 時：2018 年 1 月 9 日（月）10 時～12 時
場 所：栄図書館・ピアハッピー栄（福祉保健活動拠点）
主 催：栄区社会福祉協議会、栄区役所、栄図書館
横浜栄・防災ボランティアネットワーク
参加者：横浜栄・防災ボランティアネットワーク 17 名
地域防災拠点関係者・民生委員・自治会役員・その他 10 名、
区役所 5 名、社協 3 名、地域ケアブラザ 1 名
合計 36 名

新年の忙しい時期にも関わらず、地域防災拠点の運営委員や民生委員を含め 36 名の方の参加がありました。

実施内容としては、栄図書館にて災害ボランティアとしての登録から、派遣されるまでの流れを体験。

その後、栄区福祉保健活動拠点にてニーズの聴き取りについて参加者で検討し、理解を深めあいました。

今年度は、災ボラ会員が体験したことのない役割を担い、全体を見渡すことができるようにすることを目的の一つとして実施しました。これまで体験したことのない役割につくことで、戸惑いや新たな気付きに繋がったことが今回の訓練を通しての大きな成果の一つとなりました。

ニーズの聴き取りに関しては、まずは誰からどのようにニーズが入ってくるのかを確認することから始まり、トイレの使用可否や現場までの交通についてなど、みんな意見を出し合う事でより具体的に災害時をイメージしながら話し合いをすることができました。

災害に備えて様々な準備を行うことが必要です。このような訓練を通じて多くの人とのつながりを築き、深めていくことが災害時にもっとも必要な備えになるのではないかと感じた一日でした。



ボランティア登録



「活動募集」掲示板



オリエンテーション



栄区福祉保健活動拠点にて訓練について振り返り作業



<活動報告>

○横浜災害ボランティアネットワーク会議主催

災害図上訓練（DIT）および市・区災害ボランティアセンター設置訓練について

日 時 2月10日（土） 場 所 横浜市健康総合センター会議室

参加者 各区の災害ボランティアネットワークおよび社協から50名余

当ネットワークより宇田川、宇都宮、早福、松原、山口（栄区社協）の5名。



DIT 事前準備中

横浜市の別々の区より1名ずつ、1グループ5～6名とし、9つのテーブルに分かれて訓練が行われました。最初、災害図上訓練（DIT）は、参加者全員で地図を囲み、町の構造を知ることから始め、自然条件や防災資源などを地図に書き込み、起こるかもしれない災害をイメージし、地域の防災上の強さ、弱さを理解し、災害時の対応策を立てるための訓練で、一般的にDIG（災害想像力ゲーム）と言われている演習です。

今回は、横浜市18区の中から金沢区（大地震が発生したら極めて厳しい状況が想定される地域）を選択、元禄型関東地震が発生した時の被害想定が見える化のために、地図に油性ペンでの書き込みやドットシール貼り作業を行いました。でき上がった地図のもと、災害ボランティアセンターの配置要件を満たす場所を探す話し合いも行いました。各グループから金沢区で予定されている「いきいきセンター・金沢」を補完する場所と

していくつかの候補地が上がった（詳細略）参加者それぞれが、今回学んだことを地元を持ち帰って地域住民に対してDIGを指導できることを目指し、地域の防災力の向上を図って欲しいということでした。

次に、災害ボランティアセンター立上の訓練は、発災後設置した区災害ボランティアセンターから、市災害ボランティア支援センターへの「報告の流れ」訓練で、「災害ボランティアセンター立ち上げ状況報告書（第1報）」に記入し、その記載事項を各グループより1名がトランシーバーを使用し、報告するという演習でした。DITの訓練では、参加者それぞれが知識や意見を発言し、ゲーム感覚を楽しみながら熱心に取り組んでいた。また「振り返り」のコーナーでは、各グループの他区の参加者と意見交換ができたことも有意義でした。

記：松原

○平成29年度第3回

災害ボランティアネットワークBブロック会議

・日時 2月20日（火）

・場所 磯子区福祉保健活動拠点（磯子区主催）

・出席者：33名（内栄区4名）

災害時における横浜市災害ボランティア支援センター及び各区災害ボランティアセンターとの連携協力について、横浜市社協から説明があり、磯子区地図を中心に現況を地図に落とし込み、皆で連携協力を行っていくときの問題点等を出し合いました。磯子区は海に面しており、さらに地盤が低いため津波による浸水被害が大きく取り上げられました。磯子区では通信手段としてWiFiがどこでも使えるようにしたとの説明がありました。

今回は6月に金沢区主催で行われます。

記：宇田川

ブロック会議とは、災害時に区を越えて協力できるよう、横浜市を4つのブロックに分けて、年に2～3回の会議を開催。Bブロックは、栄区・港南区・磯子区・戸塚区・金沢区の5区で構成されています。

○防災講座協力（大森・宇田川・村上・山崎）

笠間町内会Bブロックふれあいサロン

～お年寄りにもわかる防災講座～

・日時 2月16日（金）10:00～12:00

・場所 笠間ゆうわ会館 ・参加人数：30名余

まず7年前の東日本大震災の映像が流されました。仙台市内の会社、個人宅、東京の官邸の状況、横浜の高層ビル内の揺れ、千葉の液状化等何度も見た映像だと思われるが、やはり驚きの声が上がりました。

次に全員による〇×クイズが行われ、「家具の転倒防止はしているか」、「自分の身を守るにはどうしたら良いか」、「自分の地域の避難場所は知っているか」等に答えてもらいました。数日後に防災訓練も控えていることもあり、参加された皆さんは防災意識が大変高いようでした。

その後、家具転倒防止器具説明があり、講座を終了しました。

記：村上



会員紹介

現在、災ボラの会員数は、個人会員 38 (+家族会員 5)、団体会員 32 となっています。会員の防災への取り組みをご紹介します。

◆パソコン横浜を紹介します。

パソコン横浜は、17 年前の 2001 年 2 月に誕生したパソコン教室を運営している団体です。

会員制の教室で、会員数は 1,300 人強、講師陣は 40 人強が活動しています。

講座内容は大きく分けると次の二つがあります。

- ・講師 1：受講者 1 の個人学習の講座
- ・講師 1：受講者多数 の学校教室と同じタイプの講座

このほか毎月 1 回、会員以外も参加できる無料相談会を開催しています。

さて、パソコン横浜と栄・防災ボラネットとの関係ですが、当会の初代代表（山本邦夫氏）がその設立に深く関わっていた関係で、当初より団体会員として参加しています。

災害発生時のボランティアセンターの運営にはパソコンが必要不可欠ですが、それら機器を提供しオペレートにも参加すること、またボランティアセンターを効率よく運営するための基礎資料（参加ボランティアやボランティア派遣依頼などに関するデータベース等）の制定・構築に参画すること、など主にパソコンまわりの活動をしています。



パソコン教室の様子



総会の様子

記：松田

～お知らせ～

横浜栄・防災ボランティアネットワーク総会と講演会

4月21日（土） 栄区役所 新館 4 階 8・9 号会議室

<総 会> 13：30～14：20（受付 13：00～）

<第 2 部> 14：30～16：30

関心のある方どなたでも参加できます。
多くの方をお誘いして、災ボラの活動を
広めましょう！

講演会

「地震も火山も、地球の営み」

－自然災害から命を守るためには－

講 師：平田大二氏（神奈川県立生命の星・地球博物館 館長）

※ 防災講座協力：随時ご依頼を受け付けています。日時内容については下記にお問い合わせ下さい。

ホームページをご覧ください！

「栄防災ボラネット」で検索してください。

横浜栄・防災ボランティアネットワークへの連絡は

栄区社協：TEL 045-894-8521

FAX 045-892-8974